



厚生労働省
岐阜労働局発表
平成 25 年 11 月 5 日

担当	岐阜労働局労働基準部健康安全課 健康安全課長 松宮 利光 産業安全専門官 中島 一成 (電話 058 - 245 - 8103)
----	---

飲食店に対する労働災害防止講習会の開催について

- 過去 10 年間で労働災害が 8 割増加したことを受けて開催 -

現地での取材をお願いします。

岐阜労働局（局長 佐々木秀一）では、近年労働災害多発している飲食店事業者（約 30 社）を対象とする労働災害防止講習会を下記のとおり開催します。

日 時： 平成 25 年 11 月 6 日（水）14:00～16:00

場 所： ふれあい福寿会館 3 階大会議室
（岐阜市藪田南 5 丁目 14-53）

講習内容： 飲食店における労働災害防止について
特別講演「飲食店における安全衛生管理について」
講師：労働安全衛生コンサルタント 山田弘二 氏

岐阜県内の飲食店における労働災害は、平成 22 年以降 3 年連続で増加している状況にあり、10 年スパンでみた場合、平成 15 年と比較して 84% の大幅増加となっています。（グラフ - 1 参照）

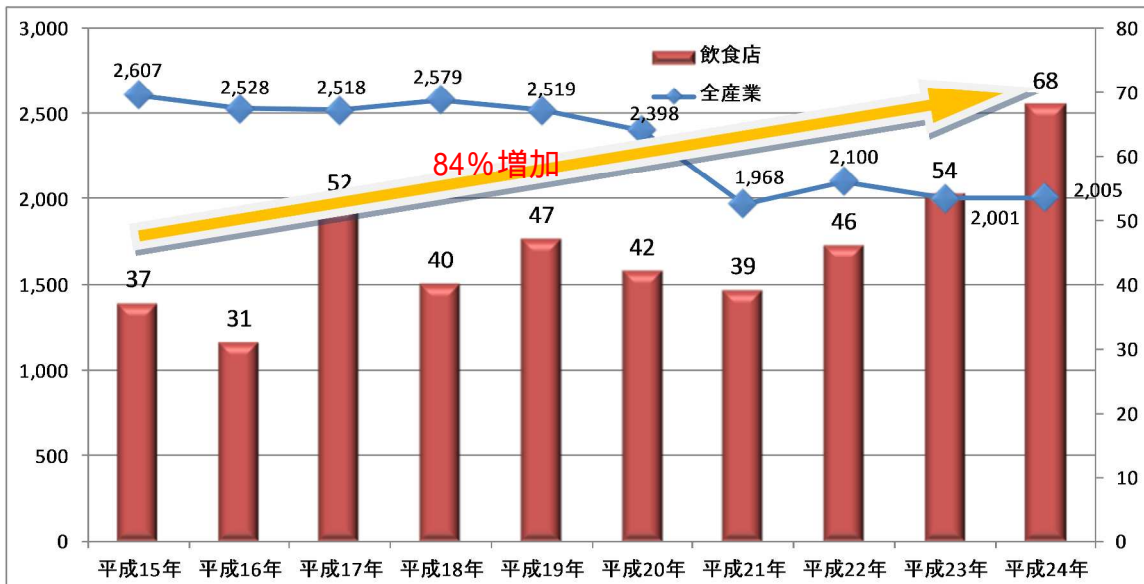
全産業の平成 15 年と平成 24 年の比較では、23% 減少となっており、全産業が減少傾向にある中であって、飲食店は突出して労働災害が増加傾向にあります。

労働災害の内容をみると、躓いたり滑ったりする転倒災害が 33%、包丁やカッターやスライサーによる手指の切れこすれ災害が 24%、脚立、はしご等からの墜落・転落災害が 10%とこれらの 3 種類の災害で約 7 割を占め、労働者の作業行動に起因した災害が多くを占めています。（グラフ - 2）

このようなことから、岐阜労働局では、「第 12 次労働災害防止計画（平成 25 年度～29 年度）」で定める労働災害の減少目標である「死亡者、死傷者数双方の数の 15% 以上減少」を実現に向け、飲食店を含めた第 3 次産業の労働災害防止対策に積極的に取り組むこととしています。

(グラフ - 1)

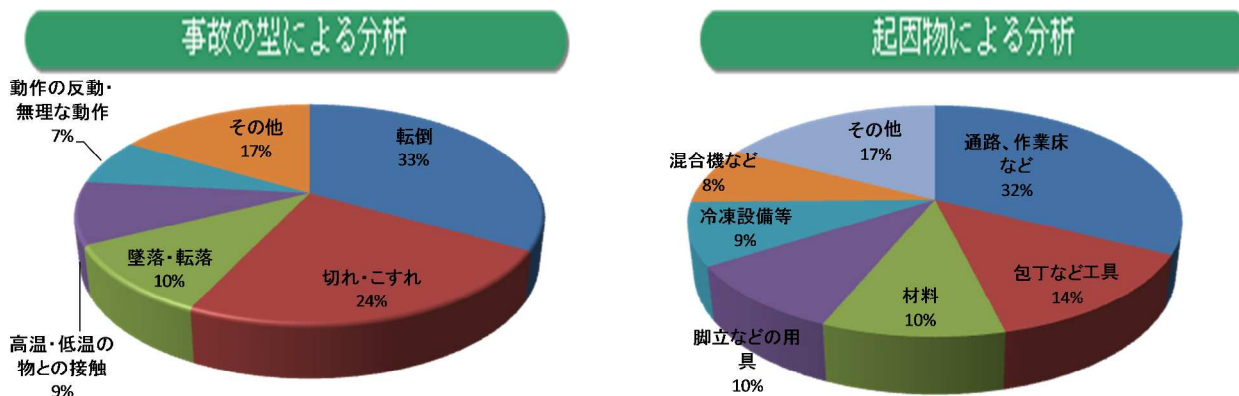
平成 15 年から平成 24 年までの労働災害件数の推移
全産業と飲食店の比較



労働者死傷病報告（休業 4 日以上）による

(グラフ - 2)

飲食店における労働災害の事故の型及び起因物別の比率



平成 20 年から 24 年までの飲食店の労働者死傷病報告（休業 4 日以上）による

(別添資料)

飲食店事業者向けの労働災害防止リーフレット